

辰巳・2018

予備受験生フォローアップセミナー

短答から論文へチェンジ

確実に合格答案を書くために基本知識を徹底確認！

<第1部>

— 法律7科目編 —

平成29年予備試験合格
平成30年司法試験合格

小牧 俊 先生

辰巳法律研究所

TOKYO・YOKOHAMA・OSAKA・KYOTO・NAGOYA・FUKUOKA

— 目 次 —

1. 論文試験当日までにやるべきこと総論	1
2. 論文試験当日までにやるべきこと各論	1
3. 使用教材等	3
4. 試験当日の注意点	3

1. 論文試験当日までにやるべきこと総論

- 最低直近五年分の予備試験の過去問の検討
- 実務科目の対策
- 過去のスタ論の復習
- 直前答練、直前模試の受講
- 問題集の限定

2. 論文試験当日までにやるべきこと各論

(1) 憲法

- 今年の司法試験が三者間の問題ではなくなったため、予備試験に関しても傾向が変わる可能性あり。
- すべての人権について、一定程度論述ができるように。
- 予備を解ききっている人は、司法試験もオススメ。
- 典型的な問題は出ないので、現場思考が結構求められる。事案に応じた対応を。
- 統治は、試験直前に旧司の問題と解答を見ておく程度で済ませるのが妥当か。
- 今年のヤマは、平等、政教分離、信教の自由、統治あたり。

(2) 行政法

- 最近は、第一問で総論、第二問で救済を聞く形式。
- 最新判例及び、H18年以降の重要判決（択一で何度も問われていた判例）は、総論各論関係なく出題の可能性はある。
- 個人的な今年のヤマは、仮の救済と処分性。特に処分性は、最近は出ていないので、完璧に理解しておいてほしい。
- 司法試験の問題と近いので、大変参考になる。

(3) 民法

- 自分がやっている問題集2冊を復習する程度でOK。
- 本番は、知らない論点、複雑な問題がでるため、現場で頑張るしかない。
- 要件事実と一緒に勉強してほしい。
- ヤマは、契約総論、不法行為、相続させる旨。

(4) 商法

- 難しい問題は出ない。日ごろの勉強がモノをいう科目
- 広く浅く勉強しておこう。
- 最新判例も出題される可能性は多少あり。

論文直前ガイダンス

(5) 民事訴訟法

- 旧司法試験＋自前の問題集一冊の復習でOK。
- 民訴も広く浅くの勉強でいいのだが、重要な概念については、深く理解して勉強すること。
- 複雑訴訟もしっかり勉強しておく。
- 今年は、複雑訴訟あたり、特に独当と上訴あたりが怪しい。

(6) 刑法

- 細かい構成要件までしっかり押さえる。
- 例年、細かいところまで聞いているので、まんべんなく勉強する。
- 合格を考えると、基本的には、あまり勉強しない科目に位置づけられる。

(7) 刑事訴訟法

- 旧司法試験＋自前の問題集一冊。
- まんべんなく勉強すること。基本的に知らない論点が出るだけで詰む科目なので、絶対に知らないことをなくしておく。
- 証拠法はしっかりやっておく。まわりと差が付きやすいところ。
- 司法試験の出題趣旨を読むと、相手が求めていることがわかるので、いい評価につながるかも??

(8) 民事実務

- 要件事実は完璧にしておくこと。抗弁の内容の説明、根拠も正確に覚える。
- 請求の趣旨、訴訟物は一言一句間違えないように。勉強しているかどうかが一発でわかる。
- 事実認定は、点数の稼ぎどころ。しっかり自分で間接事実を適示して、そこに対して主張と反論を組み立てる訓練をしておく。
- 90分かかれる試験だが70分～80分くらいで終わらせたい。
- 今年は、債権譲渡、債権者代位、保証、消費貸借あたりがあやしい。

(9) 刑事実務

- 量がすごく多い。民事で時間を掛けると最後まで書き切れなくなるので、時間配分を絶対に気を付けないといけない。
- 公判前整理手続きは毎年出るので、条文操作、制度の手続きの流れは完璧に理解しておきたい。
- 刑法、刑事訴訟法の知識を総動員しないとイケないので、地力が問われる。辰巳の青本に書いてあることは、全て理解しておいてほしい。
- 伝聞も毎年出るので、確実に点を取れるようにしておく。

(10) 一般教養

○しっかり問題の対立構造、要点を理解したうえで、問題文に秘められた誘導にしたがって適切な例を出しつつ論述することを心掛ける。

○ポイントは、例を出しつつ、わかりやすく間違いのない、筋の通った論述をすること。

3. 使用教材等

(1) 民法

合格思考民法 事例で学ぶ民法

(2) 商法

ロープラ 事例から考える会社法

(3) 民訴

旧司法試験 基礎演習民事訴訟法 ロープラ

(4) 憲法

事例演習憲法、司法試験過去問、憲法ガール

(5) 行政

事例研究行政法

(6) 刑法

刑法事例演習教材 事例から考える刑法 刑事実体法演習

(7) 刑訴

事例研究 刑事法2 旧司法試験

(8) 民事実務

新問題研究 民事裁判実務の基礎刑事裁判実務の基礎 紛争類型別

4. 試験当日の注意点

○会場は、基本パイプ椅子。腰が痛くなる人は必ずクッション必須

○ホテルの予約は今すぐしておく

○模試の申し込み

○体調管理

辰 巳 法 律 研 究 所

東 京 本 校 : 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4 - 3 - 6
TEL03-3360-3371 (代表) ☎ 0120-319059 (受講相談)
<http://www.tatsumi.co.jp/>

横 浜 本 校 : 〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-23-5 銀洋第2ビル4F
TEL045-410-0690 (代表)

大 阪 本 校 : 〒530-0051 大阪市北区太融寺町5-13 東梅田パークビル3F TEL06-6311-0400 (代表)

京 都 本 校 : 〒604-8187 京都府京都市中京区御池通東洞院西入る笹屋町435
京都御池第一生命ビルディング2F TEL075-254-8066 (代表)

名 古 屋 本 校 : 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-23-3 第2アスタービル4F
TEL052-588-3941 (代表)

福 岡 本 校 : 〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-49 ヒューリック福岡ビル8F
TEL092-726-5040 (代表)

岡 山 校 : 〒700-0901 岡山市北区本町6-30 第一セントラルビル2号館 8階
穴吹カレッジキャリアアップスクール内 TEL086-236-0335